

研究推進だより

2023/ 4/7

No. 1

研究推進委員会

R 5 年度校内研究について

本日の流れ 15:00～

- 1 校長より
- 2 今年度の研究について
- 3 各分科会協議 ※協議が終わった学年から15:30までに終了。

1 校長より

2 今年度の研究について

【昨年度までの研究】

どの子ども生きる授業の工夫

～能do(動) 協do(働) Let's do!～

【富士見小の児童の実態として】

- ・指示待ちの学びが多い。・課題意識が低い。
- ・素直に受け止められる子が多い。



【富士見小の子供たちに付けたい力】

- ★主体性をもって主体的に学ぶこと
- ★判断力を養うこと
- ★協働して学ぶこと

【研究主題について】

どの子ども生きる授業の工夫

→どの子ども主体的に学び、自分の力を発揮して学んでいける授業を作ろう。

能do(動) 協do(働) Let's do!

→具体的には、

能動・・・主体的に自ら活動する、自ら判断する、自ら思考する、など

協働・・・相手とともに活動する、相手を尊重する、など

Let's do!・・・児童が主体的、対話的に、深く学ぶ姿
★対話的とは、「自分自身との対話」、
「相手との対話」「もの(本など)との対話」などが考えられる。

ファシリテーション

① 子供が主体的に動けるための授業作り

② 聞いて、助けて、任せて、
見守る教師の支援

昨年度の研究は、どの子ども主体的に学び、自分の力を発揮して学んでいける授業づくりを目指して行ってきました。また、授業後に個人のまとめも行うことで、教師個人の課題や学びも見えました。

今年度からは、今までの研究を通して意識できるようになった視点(主体的・対話的・深い学びの各視点、教師のファシリテーション力、習得・活用・探究を意識した授業の作り方、など)を土台として授業づくりを行います。そこに「キャリア教育」をプラスして、新たな研究をスタートしていく予定です。

《令和5年度 研究主題》
学びの構造転換「キャリア教育の推進」
～すべての子どもが、なりたい自分になるために～

【今年度の校内研究の予定】

・全7回。講師は筑波大学教授 藤田晃之先生。

回	日程	種別	講師の有無	内容
第1回	4/7 (金)	全体会		今年度の研究について
第2回	4/26 (水)	研修会	講師	藤田先生による講演「キャリア教育について(仮)」
第3回	6/22 (木)	校内研(1)	講師	低学年・中学年・高学年のいずれか
第4回	11/29(水)	校内研(2)	講師	低学年・中学年・高学年のいずれか
第5回	12/4 (月)	校内研ふじみ	講師	講師による講演(検討中)
第6回	1/31 (水)	校内研(3)		低学年・中学年・高学年のいずれか
第7回	2/21 (水)	まとめ	講師	1年間のまとめ

【分科会について】

- ・分科会は低学年、中学年、高学年、ふじみ教室の4つ。専科の先生は、各分科会に分かれて所属する。
- ・キャリア教育の要は「特別活動」ではあるが、研究授業の教科は限定しない。

【指導案、協議会について】

- ・各分科会で授業を検討して指導案を作成後、指導案を全職員に配布し、提案授業を行う。講師がいなくても同じ。
- ・協議会の形は、今後の状況次第で検討していく。なるべく多くの人が自由に意見を言えるよう考えていく。
- ・まとめをどのような形で行うかは、講師と相談の上、決定する。

【授業時間について】

- ・校内研究授業日と設定されている日は、水曜日4時間時程。13:25～14:10の5時間目に当たる時間に研究授業を行う。

【本校における継続して取り組む「学習を支える基盤づくり」について】

①辞書引きの定着

- ・辞書を使って言葉を調べることを全教科において推奨する。
- ・調べた言葉のページには付箋をつけ、言葉の積み重ねを視覚的にわかるようにする。

②言葉の通帳の実施

- ・朝の時間やすきま時間、宿題等で「言葉の通帳」の取り組みを行う。
- ・楽しく言語表現力を養えるようにする。

③読書活動

- ・学校司書と連携して、年間を通して読書活動を行う。

3. 各分科会協議

本日行うことは2つ

- ① 昨年度の本校の児童の様子共有
- ② 授業を行う時期の希望と(できたら)授業者の決定
→時期に関しては、第3希望まで考えてください。(あとで調整します。)

協議が終わった学年から、本日の研究推進全体会は終了です。
研究推進委員の方は、協議内容の報告を までお願いいたします。